

スマートコミュニティの実現に向けた 支援コンサルティング

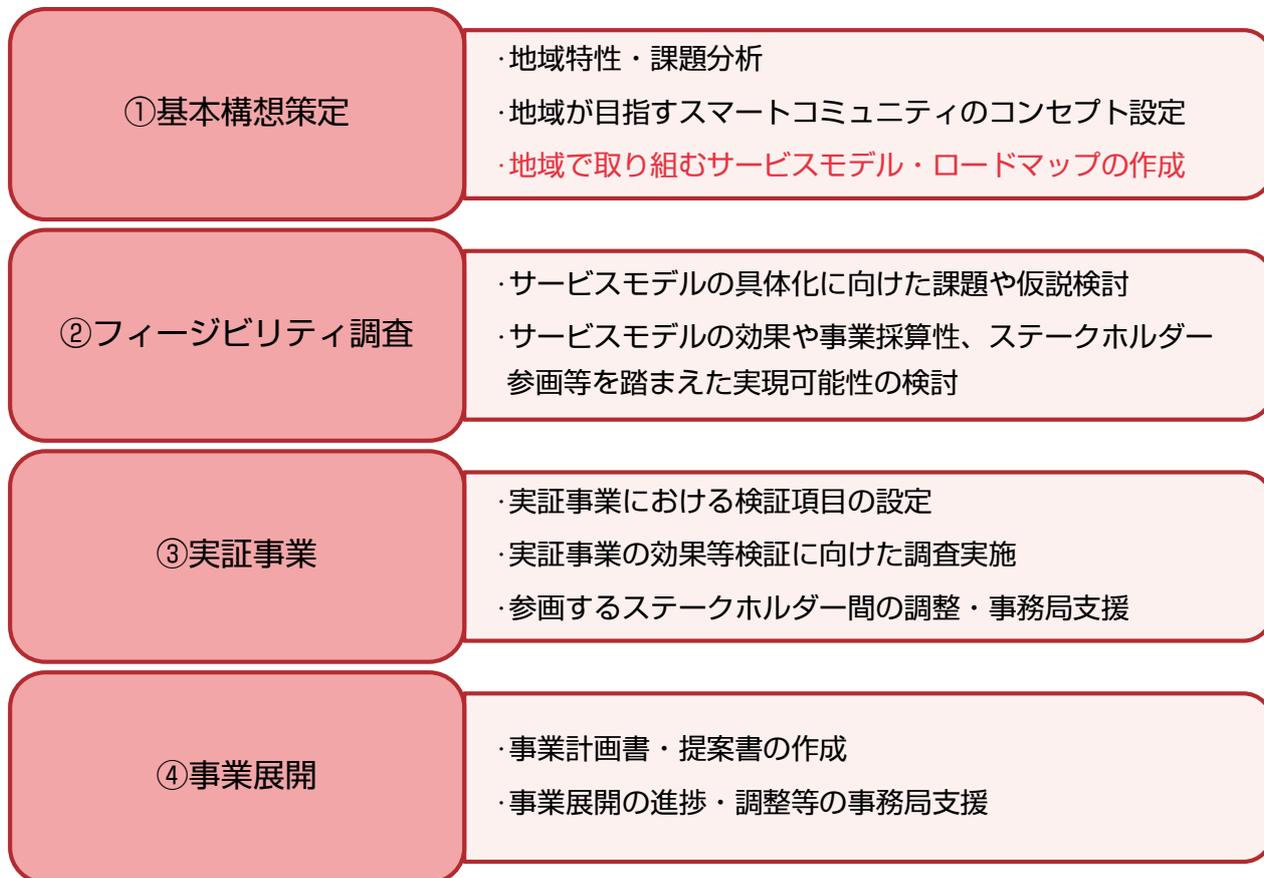
ー全国各地でのスマートコミュニティ構築に向けたプランニング、事業化支援等の実績を最大限に活用ー

スマートコミュニティの実現に向けた4つの検討フェーズを想定したご支援

- 近年、地域の複合的な社会課題を解決していくとともに、新たな地域価値の創出に向けて「スマートコミュニティ※」の取り組みが全国で活発化しています。
- 一方、この取り組みにおいては、地域の課題に対して何から始めればよいのか分からない、地域内外のステークホルダーとどのように調整すればよいのか分からないなどとお考えの地域も多いようです。
- 富士通総研では、このようなお悩みを抱えている地域において、取り組み熟度に応じた4つのフェーズを想定し、各フェーズに対応した各種サービスをご提供させていただき、地域と共にスマートコミュニティの実現に向けたご支援をいたします。

※ここでは「スマートコミュニティ」というキーワードを使用していますが、「スマートシティ」など全国的に使用されているキーワードと同様のものと捉えております。

ー スマートシティの実現に向けた4つの検討フェーズ ー

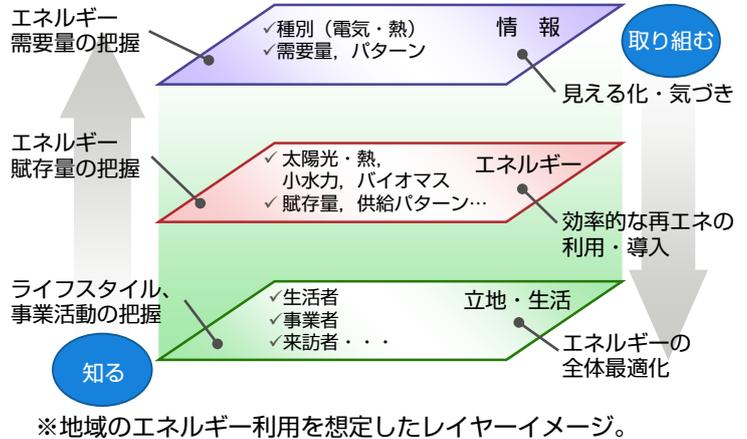


※上記の各検討フェーズのご支援の内容は、想定される主なものを記載しております。

主なサービス例：全国各所、様々なプロジェクトでの実績等多数

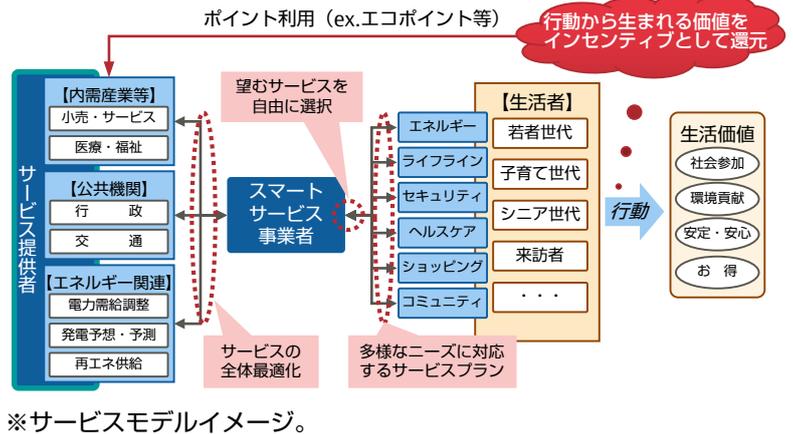
①地域特性に基づく現状分析

- 多様な地域特性や複合的な課題等を整理するため、検討すべきレイヤーの想定。
- 検討レイヤーに基づく統計データ等の定量的な現状把握、ヒアリング等をもとにした定性的な現状把握。
- 調査結果をもとにした、問題整理と課題設定。



②価値の循環を見据えたサービスモデルの検討

- 地域課題の設定を踏まえた、価値の循環を見据えたサービスモデルの仮説設定。
- サービスモデルに関わるステークホルダーの抽出・選定。
- サービスモデルを展開するための事業可能性の検証（メリット、採算性、ロードマップ）。



③スマートコミュニティの実現に向けた推進支援

スマートコミュニティの実現のためには、そのコンセプトの共有や、多様なステークホルダーとの調整の機会・場が必要となります。このため、富士通総研では、取り組みを推進するために以下のご支援いたします。

- 委員会や協議会などの事務局支援（推進体制づくり、取り組みを推進するために必要な参加者の選定、検討の基になる資料の作成、ファシリテーションなど）。
- 多様なステークホルダーへのヒアリングによる意見調整。
- 実証事業や事業展開に向けた国等事業への企画・提案資料の作成支援。

このカタログに掲載されている内容については、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

2014年5月

お問い合わせ先

株式会社富士通総研

コンサルティング本部 行政経営グループ

〒105-0022 東京都港区海岸1-16-1 ニューピア竹芝サウスタワー TEL:03-5401-8396